



堀江貴文の最新刊

『120歳まで生きたいので、最先端医療取材してみた』発売!!
医療の驚くべき進化が明らかに!!

新刊のご案内

書名: **120歳まで生きたいので、最先端医療取材してみた**

著者: 堀江貴文

監修: 予防医療普及協会

定価: 本体 840 円+税

発売: 2020年2月29日

判型: 新書判(祥伝社新書)

発行: 祥伝社

驚きの新技術を堀江貴文が徹底取材し、解説!

堀江貴文氏は2016年に予防医療普及協会を立ち上げ、医療に関する最新知見や情報を発信しています。彼が実際に医療現場を取材し、まとめたのが本書です。尿1滴でがんを検知したり、iPS細胞からミニ臓器をつくったり、脂肪がつくる酵素で老化を遅らせたり……。最先端医療は、私たちの想像以上に進化していました。本書に掲載されるのは、医療情報にとどまりません。人工冬眠で寿命が延びる、記憶を書き換える、第六感・磁覚を身につける……など科学読み物としても楽しむことができます。楽しみながら、防げる死を防ぐ情報を入手できる。「僕と一緒に120歳まで生きてみませんか」(堀江貴文)

本書の目次

第1章 がんて死ぬ人は少なくなる

●線虫でがんを検知する ●重粒子線で手術せずに治療する……ほか

第2章 人間は若くなる

●再生医療の最先端!ミニ臓器 ●人工冬眠で寿命が延びる……ほか

第3章 人間は賢くなる

●磁覚を身につける ●相手の考えを読む ●記憶を書き換える……ほか

第4章 新しい薬・治療法ができる

●人間の脳を持つ動物をつくり、精神疾患に生かす ●ロボットによる低侵襲手術……ほか

第5章 病気になる前に治す

●体内をめぐるナノマシン ●血流でリスクを読み取る……ほか

著者: 堀江貴文(ほりえ・たかふみ)

1972年、福岡県八女市生まれ。実業家。SNS media&consulting株式会社ファウンダー。現在はインターステラテクノロジズ社を設立し、宇宙ロケット開発やスマホアプリ「TERIYAKI」「755」「マンガ新聞」のプロデュースを手がけるなど幅広く活動を展開。2014年にスタートしたコミュニケーションサロン「堀江貴文イノベーション大学校(HIU)」の会員は約1600人にのぼり、常時新たなプロジェクトが生まれている。2015年に予防医療を普及するための活動を開始し、2016年3月に「予防医療普及協会」の発起人となる。著書は『多動力』(幻冬舎)、『むだ死にしない技術』(マガジンハウス)、『ピロリ菌やばい』(ゴマブックス)、『健康の結論』(KADOKAWA)など多数。

堀江貴文ツイッター: https://twitter.com/takapon_jp

監修: 予防医療普及協会(よぼういりょうふきゅうきょうかい)

2016年3月、経営者、医師、クリエイター、社会起業家などの有志を中心として発足。予防医療に関する正しい知見を集め、啓発や病気予防のためのアクションをさまざまな企業や団体と連携し、推進している。これまでにがんの主な原因である「ピロリ菌」の検査・除菌啓発を目的とした「ピ」プロジェクト、大腸がん予防のための検査の重要性を伝える「プ」プロジェクト、子宮頸がん検査、HPVワクチンに関する正しい情報の発信、啓発を目的とした「パ」プロジェクトを実施。予防医療オンラインサロン「YOBO-LABO」はオープンから1年半で会員数270名を突破。現在、「パ」「ピ」「プ」プロジェクトに続き、歯周病予防の「ベ」プロジェクト、糖尿病予防の「ボ」プロジェクトが進行中。各診療科の専門医、歯科医などが集い、それぞれの専門領域を超え、活動をサポートしている。

一般社団法人 予防医療普及協会ホームページ: <http://yobolife.jp>



刊行記念イベント

2月28日(金)に堀江貴文のトークライブを行います。堀江氏と医師が、最先端医療の実態と予防医療について語ります。先着160名にはサイン本つき!!!ぜひご来場ください。

テーマ: 最先端医療の実態と予防医療

※テーマは変わる場合があります

日時: 2月28日(金) 12:15開始、13:45終了予定

※開場 11:30

出演: 堀江貴文、渡邊嘉行(予防医療普及協会 副代表理事)、稲葉可奈子(予防医療普及協会顧問)
前売: 税込4000円

※『120歳まで生きたいので、最先端医療取材してみた』1冊(先着160名にはサイン本)と1ドリンクつき

会場: LOFT9 Shibuya(ロフトナイン渋谷)

お申し込み: LOFT9 Shibuya

(03-5784-1239 <http://www.loft-prj.co.jp/loft9/>)